

共感する心、共生する心を育てる道徳科の授業とは

コロナ禍対応等で教育活動が制限され、マスク越しの会話が欠かせない学校現場において、子どもたちの人間関係づくりが難しくなっているなど様々な問題が山積する今、子どもたちにどのような心を育てたいですか？

私は、「共感する心」と「共生する心」と考えます。

マスクがあると相手の表情が読み取りづらい、そうでなくとも相手の気持ちが読み取れない子が増えている中、まず求められるのは、「共感する心」です。「共感する心」とは、他者の喜怒哀楽を共有すること、つまり、相手が悲しんでいれば自分もその悲しみを理解しようとする、相手の心に寄り添うことです。相手の気持ちがわからないから、相手を傷つける言動をしてトラブルが絶えないのが現状です。人とのつながりを築き上げていくうえで大切なものが「共感する心」です。

そして、「共生する心」とは、誰もが違いを認め合い、相互に人格と個性を尊重し、支え合おうとする心です。世の中には、様々な経験、経歴、境遇、特性、主義や主張をもった人々が存在します。子どもたちはこの先、そういった自分の想像を超えた人たちと出会い、共にこの地球上で生きていくことになります。心豊かに生きていくためには、人と人との支え合い、助け合い、互いに高め合っていくことが大切です。

また、「共生する心」は、「共感する心」から生まれます。まずは、私たちが共感をもって共に歩み寄り、支え合う力を育むことが大切です。

今、道徳科に求められるのは、ダイバーシティが大切にされる現代のニーズに合った授業です。この資料が、「共感する心」「共生する心」を育てる授業づくりに役立ってもらえればよいと思います。

尾高 正浩（千葉市立松ヶ丘小学校校長）

共感する心、共生する心を育てる道徳科の授業とは



共感する心、共生する心を育てる道徳科の授業とは

日文 教授用資料

令和4年(2022年)10月7日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD 33613

日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

※本冊子掲載QRコードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

事例

固定観念で物事を判断することの危うさを知り、互いに多様な生き方を尊重し合える心を育む授業

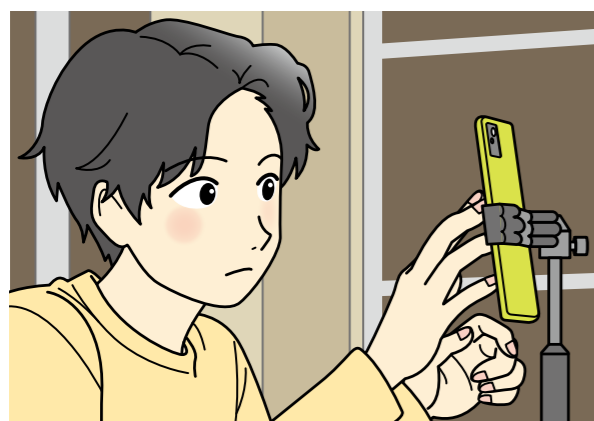
教材

「田中さんのなやみ ～みんなが自分らしい服を着られたらいいのに～」 (SEED なやみのタネ NHK for School)

あらすじ

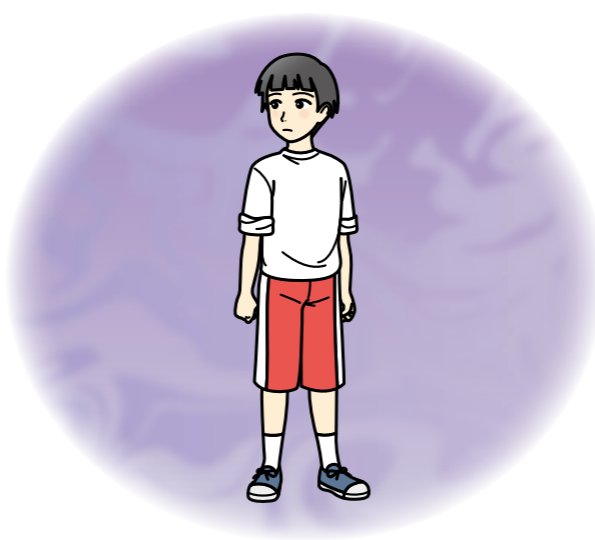
トランスジェンダーの田中さんは、着たい服が着られない悩みをもっていました。偏見をなくすためにライブ配信して、性的マイノリティーのことを知ってもらおうと試みます。田中さんは、みんなが自分らしくいられるにはどうしたらよいか問いかけます。
(視聴時間 10分)

※指導にあたっては、学級に性的マイノリティーで悩む児童がいるかもしれないことに配慮する。



田中さんは、どのような考えからインターネットのライブ配信を企画し続けているのでしょうか。

3 問題について話し合おう



セーラー服が嫌で、ジャージを着ていた時、田中さんはどのような気持ちだったでしょう。

1 問題をつかもう



誰もが自分らしくいられるために必要な心はどのような心でしょう。

4 問題を解決する時に大切な考え方について話し合おう



カナナさんが自分の家族に自分がトランスジェンダーだということを打ち明けた時、お父さんほどのような思いでメッセージを送ったでしょう。

2 自分なりに考えよう

ねらい

性別による先入観が知らないうちに差別につながっていることに気づき、誰もが自分らしく生きられる社会を実現しようとする心情を育てる
(B 相互理解、寛容)

導入

この絵の中にどんな人たちがいますか。

★複数の人が描かれた絵を掲示します。人物の性別について言及した児童にそれはどこで判断したかを尋ねます。

展開

①「セーラー服が嫌でジャージを着ていた時、田中さんはどのような気持ちだったでしょう。」

★自分の思いをわかってもらいたくてまわりに伝えたいけれど、おそらくわかってもらえないだろうと不安に思っている人間の弱さに気付かせます。

②「カナナさんが自分の家族に自分がトランスジェンダーだということを打ち明けた時、お父さんはどのような思いでメッセージを送ったのでしょうか。」

★カミングアウトすることがとても緊張し、必死であることに気付かせます。そして、それを受け止めようとする気持ちについて考えさせます。

③「田中さんは、どのような考えからインターネットのライブ配信を企画し続けているのでしょうか。」

★自分の考えや意見を相手に伝えたり、尊重し合ったりするために大切なことについて、多面的・多角的に考えさせます。

④「誰もが自分らしくいられるために必要な心はどのような心でしょう。」

★自分の考えを書かせたうえで、グループになって聴き合い学習をします。

終末

「今日の学習を振り返りましょう。」

今までの自分はどのような心をもって来たか、今日の学習で学んだことは何か、これからのどのような心を大切にしていけるか、多面的・多角的に考えられたか、について振り返ります。